

インピーダンス

日本共産党通研支部

<http://impedance.sakura.ne.jp/>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2630

2023 年 5 月 8 日

定価 1 部 10 円

憲法施行から76年を迎えた3日、憲法を守り生かそうと全国で集会やデモが行われました。東京・有明防災公園で開かれた集会には、新型コロナウイルス流行以降で最大規模となる2万5000人が参加。

憲法を守り あらたな戦前にさせない

全国で憲法集会 東京2万5000人

日本を「あらたな戦前にさせない」とアピールしました。
集会実行委員会の高



田健さんが挨拶し、岸田政権は敵基地攻撃能力の保有を明記した安保3文書を閣議決定するなど戦争の準備をしているが、「やるべきは平和の準備です」と強調。岸田首相が来年9月までに改憲を目指すと言ったことに触れ、「全国でたたかい、阻止しよう」と呼びかけました。

「悪政連合」で悪法次々の暴走 経験ない重大な事態 国民的運動で包囲し阻止を

原発回帰に大転換する原発推進法案と、健康保険証を廃止してマイナンバーカードを強要する「マイナンバー法等改定案」が4月27日の衆院本会議で採決され、さらに国策として軍需産業を育成する軍需産業支援法案が委員会を通過しました。日本共産党の志位委員長は記者会見で、「これも本来、一国会、二

国会かけて徹底的に議論を尽くすべき重大なものばかりだ。わずか1カ月程度の審議期間で次から次へ通す。これまで見たことがないような暴走ぶりだ」と強調。これらの悪法の強行は自公政権と維新、国民を含めた4党の「悪政連合」によって推進されていると指摘、国民的運動で包囲し阻止していかうと呼びかけました。

今週の数字

	新型コロナ (2類相当)	季節性インフル エンザなど (5類)
入院勧告	できる	できない
就業制限	できる	できない
患者・濃厚接触者の行動制限	できる	できない
ワクチン・医療費	公費負担	自己負担も
医療の受け入れ	発熱外来や指定医療機関	一般医療機関
感染者の把握	全数把握(簡略化)	定点または全数把握

新型コロナウイルス
「2類相当」と「5類」の違い
感染症法上の位置付け

大軍拡も増税もNO! 賃金あげて消費税さげるYES!

入国管理法改悪案 自公維国が可決強行

法案撤回し

人権尊重の制度に見直せ

入管法改悪案は28日の衆院法務委員会、自公維国の賛成で可決されました。

日本共産党の本村議員は反対討論で、同改悪案は2021年に廃案となった法案とほぼ同じ内容で、「壮絶な不安を抱える方々の悲鳴

さらに「ウイシュマ

さんはじめ死亡事件も相次いでいるのに、監理措置が適用されない原則收容主義は維持され、收容への司法審査も收容期間の上限もない」とし、法案を撤回し、国際人権基準にそった制度に徹底的に見直すことを強く求めました。

また自公維国4党修正案は人権侵害の根本問題を棚上げしており、「実効性はまったくない」と強調しました。

学術会議会長がメッセージ 学術発展へ協議の場を

日本学術会議の独立性を損なう法改悪案について、政府が今国会への提出を見送ったことを受け、学術会議の

梶田会長は4月27日、会員・連携会員に向けた会長メッセージを公表しました。

メッセージは、法改正に懸念を表明した多くの学協会・研究者への感謝を表明した上で、政府がこれを機に、学術会議を民間法人とする案を検討していると指摘。学術会議は政府に「開かれた協議の場を設けるべき」と勧告しているとして、「政府機関にとどめるか、民間法人とするかという論点に限定せず、日本の学術の発展のため

に真に求められることを、必要かつ十分な時間をかけて検討するために、広く学術に関わる関係者を交えた開かれた協議の場を作ることを求めている」と改めて強調しています。

チャット GPT AI 長所・短所の理解を

人工知能学会が呼びかけ

行楽

日比谷公園にバラを見に行ったきれいだ。日比谷公園から東京駅へ歩いたら、古いビルが建て替えられ、巨大なビルが古い5階建ての上にそびえ、緑も増やしている。

日比谷公園に面した昔のNTT本社ビルも、建て替え中だった。(W)

職場から



行動制限のない大型連休。「車で妻の実家に初孫を見せに里帰り。高速道路は往復ともに順調で夜の移動は正解だった」3年ぶりに息

子と東京ドームで野球観戦。巨人のサヨナラ勝ちに親子そろって大満足「実家に帰り中学時代のクラス会に参加。学校近くの河原でバーベキュー大会。天候にも恵まれ飲みすぎた」体調を崩し、連休で病院探しに苦労した

5月も値上げ。「値上げの予定は飲食料品で820超品目、前年同月の3倍超だ」缶コーヒーは大手各社が軒並



み値上げ。缶詰などの加工品や調味料も値上げしている

「5日、WHOが緊急事態宣言を解除した」テドロス事務局長は脅威がなくなったわけでは

ないと強調した「日本では8日からインフルエンザと同じ第5類になる」「ワクチンは来年3月まで無料だ」日本は抗体を持っている割合が欧米に比べて低いからこれからは流行の心配がある「重症化が減ったが高齢者の感染リスクは高い」

能登で地震。「5日、震度6強の地震があった」「大きな被害が出た」「余震が何度も続い

ている」「一連の地震の要因に地下水が関与しているという」ロシアによるウクライナ侵略。「クレムリンにドローン攻撃があった」「真相は不明だ」

「連休は抜けるような青空、植物の緑も、生き生きとすがすがしい」「バラが満開」「ハナミズキもきれいだ」

「チャットGPT」などの人口知能(AI)の利用が広がる状況をめぐって、人工知能学会は4月25日、AIの回答をうのみにするのではなく「簡単な仕組みや、その長所・短所を理解した上で利用することが大切だ」とするメッセージを発表しました。

この技術は、文章の生成や相談ごと、検索など多彩な使い方ができ、アイデアの創造や効率化など「きわめて有用性が高い」ものの「発展途上の技術であり、社会規範や倫理にそぐわないものを生成する可能性がある」などの課題をあげました。研究コミュニティに対しては、積極的に利用を推奨。「AIを創る側としての自覚を持ち、野心を持ちつつも節度ある研究開発をすることを希望する」と呼びかけています。